

R4 開始

# 01 黒石市（青森県）

～主な品目～  
水稲

## 実施体制

黒石市、青森県、JA津軽みらい、くろいし有機農業推進協議会、民間農機具メーカー、青森県産業技術センター 等

## 面積情報

有機農業取組面積：8ha 耕地面積に占める割合：0.2%

（令和3年度時点）



## 1 成果目標

有機農業の取組面積の拡大（有機JAS認証面積）R4年度 4.6ha → R9年度 40 ha

有機農業に取り組む農業者数の増加 R4年度 1人 → R9年度 20人

学校給食での有機農産物の導入回数 R4年度 2回 → R9年度 全量化（米のみ）

## 2 有機農業を拡大していく上での課題

### 生産

生産技術の確立と生産者間での技術の共有

### 加工・流通

市外・県外への合理的な流通体制

### 消費

有機農産物の消費の拡大

## 拡大をはばむ雑草の紹介

・コナギ・オモダカ  
（7月～9月）

【対策】間隔をあけた代掻きの2回実施。深水管理により抑制しつつ、水田除草機で除草を行い、初期段階での防除管理を行う。



▲コナギ（上）  
オモダカ（下）

## 3 課題に対する取組のポイント・成果

有機農業拡大に伴う産地内での安定した消費の確保。  
一定の消費量を確保することが、生産者の安心にもつながり、規模拡大・販路拡大の取組を行うことが可能。  
併せて地産地消の取組も行うことができる。

【取組による定量的な成果】

有機米の給食導入回数及び量

R4年度：2回・208kg → R5年度：10回・975kg

## ポイントとなる導入技術

作業時間、作業回数の省力化を目指しスマート機械の導入。  
除草作業の短縮が水稲の有機農業拡大には必須の要件となる。



▲水田用自動抑草ロボット  
▼紙マルチ田植機



## 4 主な取組内容

### ①生産

- ・有機JAS認証機関を招請し、新規参入者向け講習会を開催
- ・水稲（市内ブランド品種）の栽培マニュアルの策定（今後実施予定）
- ・産業技術センター及び農機具メーカーと連携し、省力化と地域性に合わせた病虫害防除の方法を検証

### ②加工・流通

- ・特設ページをECサイトと連携し制作。
- ・多くの消費者に黒石市の産地の魅力や有機農業の取組を農産物と併せて紹介し、購買意欲の向上を図っている。

### ③消費

- ・商業施設と連携し、消費者が農産物を入手しやすいよう目立つ場所にブースを設置。
- ・また、特設ページをECサイトと連携し制作。消費者に産地の魅力なども紹介し、購買意欲の向上を図っている。



◀商業施設へブース設置



▲講習会



▲特設ページ